

第3回
徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会 資料

平成29年11月22日
都市整備部まちづくり推進課

■徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)	P 2
<hr/>	
■今回の検討事項	P 4
<hr/>	
1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて	P 6
<hr/>	
2. 駅前広場の空間のあり方について	P13
<hr/>	
3. にぎわいづくりのための取り組みについて	P20

徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)

徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会のスケジュール(予定)

第1回 (開催済)

- ・ 駅周辺まちづくりにおける3つの整備方針(案)の共有
 - ①より一層のにぎわいの創出
 - ②都市の魅力づくり
 - ③公共交通の利用促進

第2回 (10月開催)

- ・ 整備方針(案)に対応したまちづくりの方向性の議論
(方向性を議論するためのデータ提示)
(議論を深度化するための必要データの洗い出し)
- ・ 検討会の各回のテーマ、スケジュール

第3回 (11月)

- ・ 徳島駅周辺まちづくりのコンセプト
- ・ 駅前広場の空間のあり方
- ・ にぎわいづくりのための取り組み

第4回 (12月予定)

- ・ 徳島駅周辺のまちづくり上の課題
- ・ まちづくりの将来像、整備方針
- ・ 整備方針図

第5回 (1月予定)

- ・ まちづくり計画(素案)の調整

今回の検討事項

検討内容

- ・ 徳島駅周辺まちづくりのコンセプト等

検討の論点

都市機能集積
による都市の
にぎわい創出

魅力ある
公共空間の創出

駅周辺への
アクセス性・
回遊性の高い
モビリティ

- ・ 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて
- ・ 駅前広場の空間のあり方について
- ・ にぎわいづくりのための取り組みについて

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

徳島駅周辺のまちづくりのコンセプト（案）

都市機能集積
による都市の
にぎわい創出

魅力ある
公共空間の創出

駅周辺への
アクセス性・
回遊性の高い
モビリティ

特徴・方向性

- ・ 広域的圏域の人々を対象とした都市機能の立地（行政等）
- ・ 居住者向け（居住、商業、子育て）、来訪者向け（文化、観光）機能の充実
- ・ 駅前広場と周辺都市機能との連携

- ・ 中央公園、眉山、新町川など、中心部には大きな緑や水の空間が存在
- ・ これら資源の機能強化や資源を活かした景観形成、資源への誘導の充実
- ・ 駅前広場の新たな魅力創出

- ・ 四国有数のターミナルとしての交通結節機能
- ・ 自動車依存からの脱却、公共交通の利用促進、まちのにぎわいづくりの点から、アクセス性と回遊性を充実

連立事業

- ・ 連続立体交差事業の効果を最大に活かすため、どのようなまちづくりが必要か？
- ・ まちが鉄道を越えてつながる契機を、徳島としてどのように活かすべきか？

◆ 鉄道高架事業により生み出される空間等を活用した、都市機能の更新や集積、多様な市民活動等により、持続的なにぎわいを創出する。

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

徳島駅周辺のまちづくりのコンセプト（案）

都市機能集積
による都市の
にぎわい創出

魅力ある
公共空間の創出

駅周辺への
アクセス性・
回遊性の高い
モビリティ

特徴・方向性

- ・ 広域的圏域の人々を対象とした都市機能の立地（行政等）
- ・ 居住者向け（居住、商業、子育て）、来訪者向け（文化、観光）機能の充実
- ・ 駅前広場と周辺都市機能との連携

- ・ 中央公園、眉山、新町川など、中心部には大きな緑や水の空間が存在
- ・ これら資源の機能強化や資源を活かした景観形成、資源への誘導の充実
- ・ 駅前広場の新たな魅力創出

- ・ 四国有数のターミナルとしての交通結節機能
- ・ 自動車依存からの脱却、公共交通の利用促進、まちのにぎわいづくりの点から、アクセス性と回遊性を充実

連立事業

- ・ 連続立体交差事業の効果を最大に活かすため、どのようなまちづくりが必要か？
- ・ まちが鉄道を越えてつながる契機を、徳島としてどのように活かすべきか？

◆都心軸（シンボルゾーン）と中央公園を抜ける南北交流軸とを結節する駅前広場をにぎわい空間として再編する。これにより、都心軸・南北交流軸・駅前広場が一体となった「にぎわい交流軸」を形成し、新たなにぎわいと、その面的な拡がりを創出する。

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

徳島駅周辺のまちづくりのコンセプト（案）

都市機能集積
による都市の
にぎわい創出

魅力ある
公共空間の創出

駅周辺への
アクセス性・
回遊性の高い
モビリティ

特徴・
方向性

- ・ 広域的圏域の人々を対象とした都市機能の立地（行政等）
- ・ 居住者向け（居住、商業、子育て）、来訪者向け（文化、観光）機能の充実
- ・ 駅前広場と周辺都市機能との連携

- ・ 中央公園、眉山、新町川など、中心部には大きな緑や水の空間が存在
- ・ これら資源の機能強化や資源を活かした景観形成、資源への誘導の充実
- ・ 駅前広場の新たな魅力創出

- ・ 四国有数のターミナルとしての交通結節機能
- ・ 自動車依存からの脱却、公共交通の利用促進、まちのにぎわいづくりの点から、アクセス性と回遊性を充実

連立
事業

- ・ 連続立体交差事業の効果を最大に活かすため、どのようなまちづくりが必要か？
- ・ まちが鉄道を越えてつながる契機を、徳島としてどのように活かすべきか？

◆ 駅周辺においては公共交通・歩行者優先の空間に転換し、だれもが安全に、安心して滞在・回遊できる空間を創出する。

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

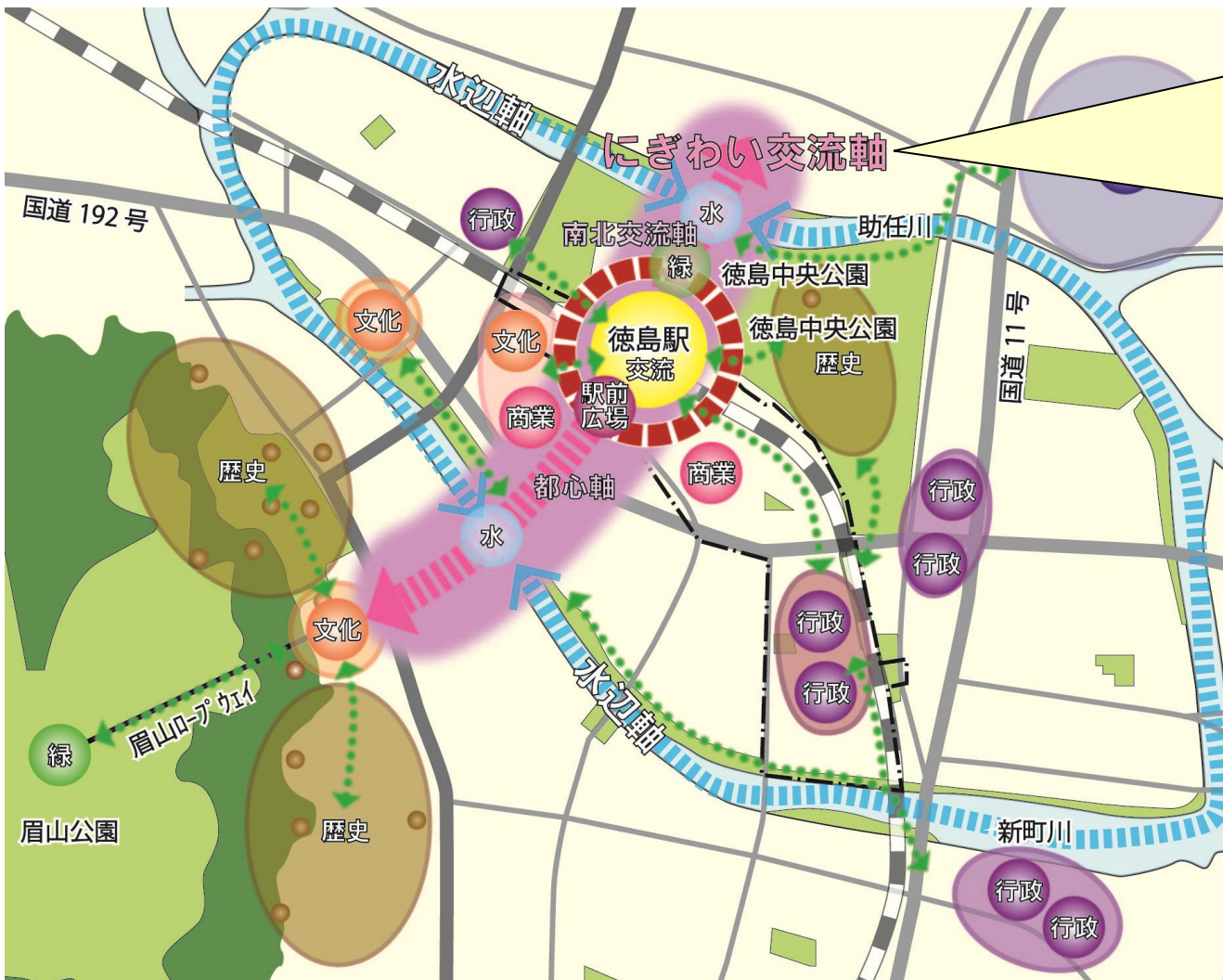
徳島駅周辺のまちづくりのコンセプト（案）

- ◆ 鉄道高架事業により生み出される空間等を活用した、都市機能の更新や集積、多様な市民活動等により、持続的なにぎわいを創出する。
- ◆ 都心軸（シンボルゾーン）と中央公園を抜ける南北交流軸とを結節する駅前広場をにぎわい空間として再編する。これにより、都心軸・南北交流軸・駅前広場が一体となった「にぎわい交流軸」を形成し、新たなにぎわいと、その面的な拡がりを創出する。
- ◆ 駅周辺においては、公共交通・歩行者優先の空間に転換し、だれもが安全に、安心して滞在・回遊できる空間を創出する。

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

駅周辺のまちづくりのコンセプト（案）における「にぎわい交流軸」

「にぎわい交流軸」を形成し、新たなにぎわいと、その面的な拡がりを創出する。



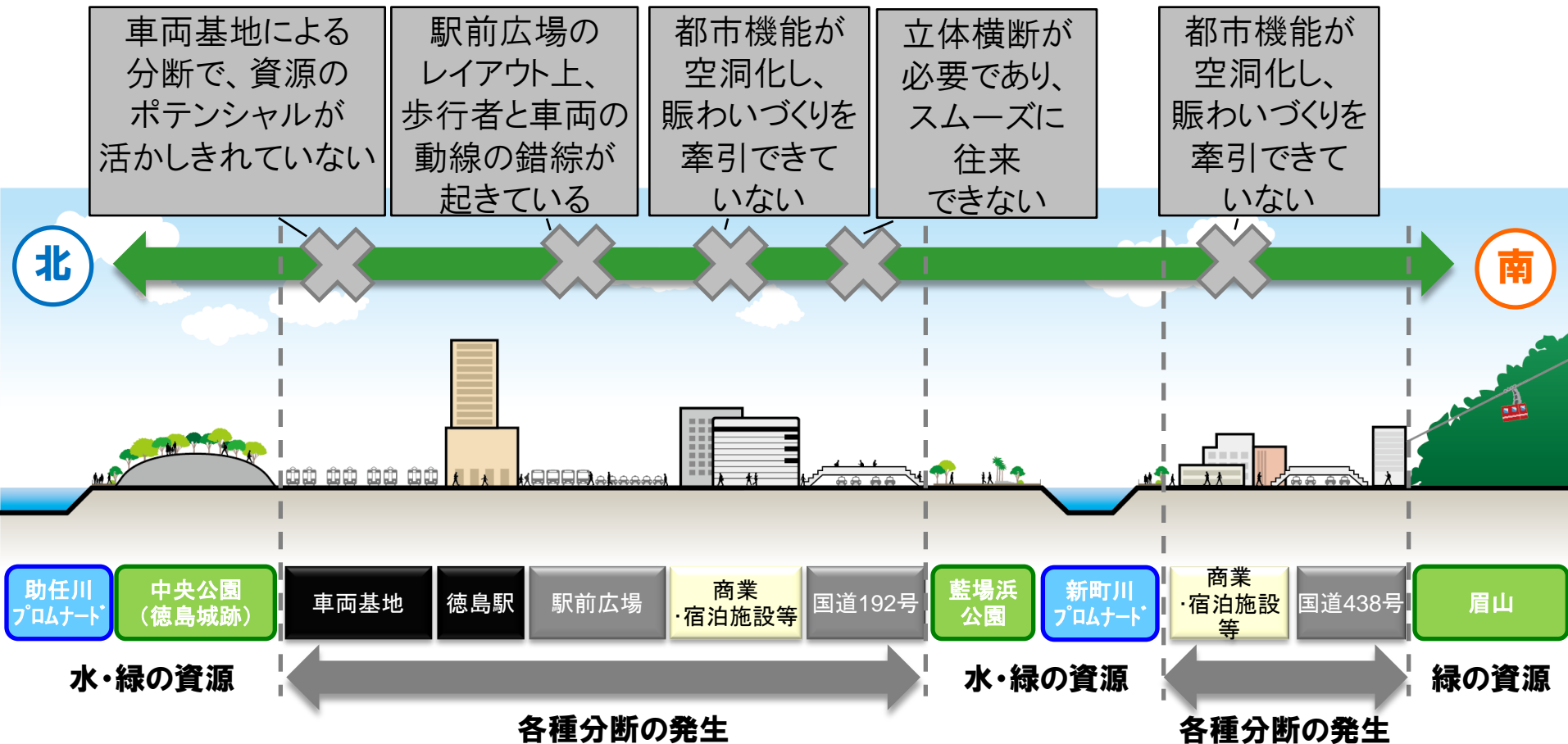
にぎわい交流軸
(中央公園～徳島駅前広場
～新町川～眉山)

“にぎわい交流軸”の中核を成す徳島駅前広場等の公共空間を再編することにより、にぎわい空間や快適かつ安全な動線を確認し、駅を中心としたにぎわいの拡大を目指す。

1. 徳島駅周辺のまちづくりのコンセプトについて

にぎわい交流軸の現状

⇒ 各種分断や横断により、都市機能や地域資源の連携が生まれにくく、にぎわいにつながらない

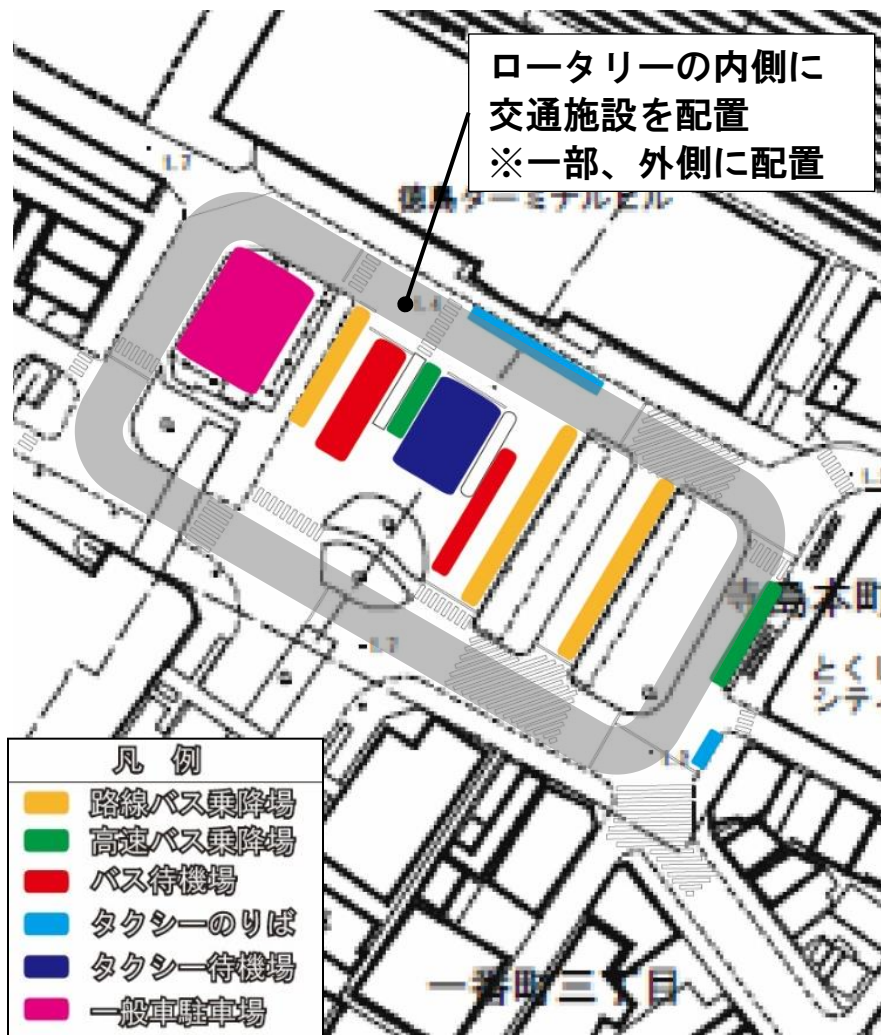


2. 駅前広場の空間のあり方について

2. 駅前広場の空間のあり方について

駅を中心とした公共空間の再編

- 公共空間の重要施設である駅前広場は、歩行者動線の分断など、現状で様々な課題を抱えている。



主な問題点

<車両動線>

- ・通過車両などが混入し、動線が煩雑、交差点や信号制御も含めて、車両動線が輻輳



<駅前広場レイアウト>

- ・一般車乗降場や荷さばき関連機能の不足
- ・バス乗り場の快適性の不足



<歩行者動線>

- ・車両動線が複数回交差(バス利用者も含む)
- ・歩行者の滞留空間の不足



<シンボル性>

- ・徳島市の玄関口としての景観形成が不十分
- ・周辺施設への回遊性の不足



2. 駅前広場の空間のあり方について

駅を中心とした公共空間の再編

- 平成22年計画では、鉄道南北への駅前広場配置や東西道路の整備を計画
- 公共空間再編は、鉄道車両基地跡地及び現駅前南口広場内の区域を基本としており、公共交通や歩行者を中心とした、にぎわい交流軸の形成の観点では、見直しが必要



2. 駅前広場の空間のあり方について

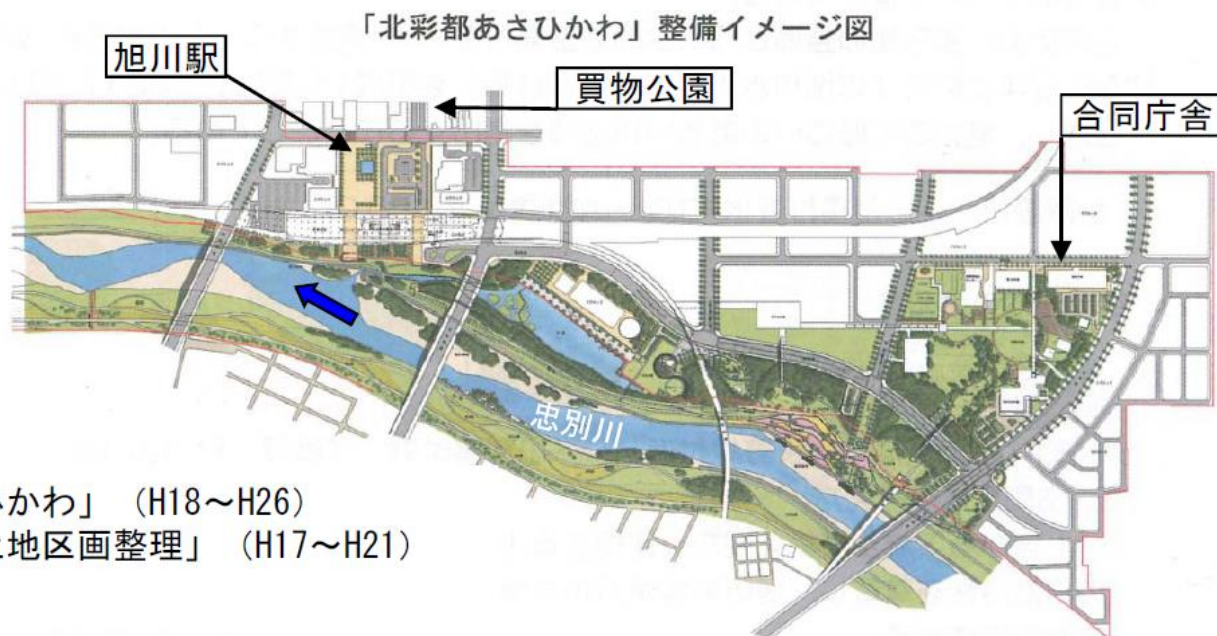
駅を中心とした公共空間の再編<参考事例>

- 自動車向けの道路空間を歩行者や自転車空間にリノベーションし、都市のにぎわいづくりに向けた仕掛けを行っている事例もある

■旭川駅周辺JR高架事業

⇒鉄道線形を従来よりも約70m南側にシフトさせて高架化を実施

⇒高架をシフトさせることにより、駅北側は既存の都市機能との連続性を確保するとともに、駅南側は河川と一体的な憩い空間としての整備を展開



- ・旭川駅周辺再開発事業「北彩都あさひかわ」(H18~H26)
- ・まちづくり交付金事業「旭川駅周辺土地区画整理」(H17~H21)
- ・忠別川水辺プラザ事業(H10~H23)

出展 : 旭川駅周辺開発整備計画

2. 駅前広場の空間のあり方について

駅を中心とした公共空間の再編<参考事例>

【イベントスペース】博多駅

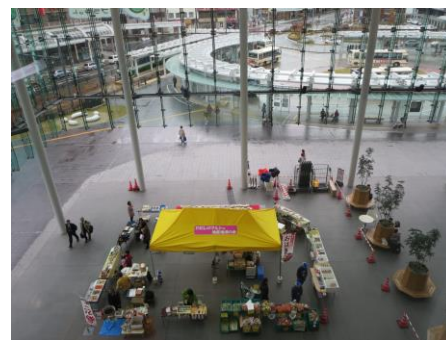
⇒歩行者向けの情報案内はもちろんのこと、多くの緑を設けるなど、歩行者優先の空間を整備

⇒駅前広場内にイベント広場を有しており、この広場は一般企業なども利用可能



【イベントスペース(再開発ビルと一体)】福井駅

⇒駅前広場再整備及び隣接した市街地再開発事業地内で、一体的にイベントスペースを確保



2. 駅前広場の空間のあり方について

駅を中心とした公共空間の再編<参考事例>

【イベントスペース、文化財】 甲府駅

⇒駅前広場整備に伴い、イベントスペースを創出、イベントスペースに隣接して、重要文化財（資料館）を移築

⇒樹木には涼しさを演出する涼霧システムを導入



【地域の新しいシンボル】 金沢駅

⇒駅前広場整備にあわせ、シンボリックな空間（ドーム）を整備、空間内にはイベントスペースや公共交通案内、待合スペースを備える



2. 駅前広場の空間のあり方について

駅を中心とした公共空間の再編<参考事例>

【眺望点、憩い空間】 姫路駅

⇒駅前広場再整備に伴い、姫路城への眺望を整備し、玄関口としての機能向上
⇒地下街などにつながるオープン地下広場・庭園を整備し、駅前の憩い空間を確保



【緑空間】 日向市駅

⇒連立事業に合わせて駅東西をつなぐ動線を整備するとともに、駅前広場に隣接して交流広場を設け、野外ステージや歩行者・緑の空間を確保



3. にぎわいづくりのための取り組みについて

3. にぎわいづくりのための取り組みについて

公共空間と民間施設の一体的なマネジメントの必要性

- まちとしての価値を高め、暮らしやすく、来訪したくなる環境を整えるためには、公共空間と民間施設の双方を、以下のような視点で一体的にマネジメントすることが求められる。

にぎわい創出における連携

- 公共空間におけるイベント、プロモーション活動
- 滞留や回遊と相乗効果を発揮する導入機能や配置
- にぎわいの連続性を生み出す駐車場や駐輪場の配置・管理

景観形成における連携

- 公共、民間の施設整備、屋外広告物設置等に対するルールづくり
- 水景、植栽、イルミネーション等の運用による景観効果の創出
- 屋外空間に関する清掃活動、清掃ボランティア活動の継続的運営

一体的な
マネジメント

環境配慮に関する連携

- 省エネやCO₂削減等におけるエリア全体での取り組み
- 敷地内や建物の緑化による緑陰の確保
- 環境保護につながる教育・啓発事業の実施

防災・防犯・安心対策に関する連携

- 災害時における緊急避難・救援活動・避難生活等の活動拠点の運用
- 監視カメラ、防犯照明等の効果的な配置・運用
- 高齢者や障がい者、外国人に配慮したユニバーサルデザインやバリアフリー機能の維持

3. にぎわいづくりのための取り組みについて

徳島駅周辺でのにぎわい創出に向けた連携による活動例

- 徳島駅周辺でのにぎわい創出に向けては公共空間の活用、民間施設との連携によって、以下のような活動を創出するためのマネジメントが求められる。

	にぎわい創出に向けた活動例
公共空間におけるイベント、プロモーション活動	
駅前広場	・駅前広場の環境空間(歩行者空間)や道路・歩道・水辺空間、公園・緑地空間等を活用したイベント等の企画・実施や、各種プロモーション活動の誘致
道路・歩道・水辺空間	
公園・緑地空間	
滞留や回遊の相乗効果を発揮する導入機能や配置	
商業施設、商店街	・施設の屋外空間と公共空間(歩行者空間)を連続的に利用した休憩所やオープンカフェ等の設置 ・駅周辺地域における回遊ルートの設定 ・芸術・文化等のテーマにつながる店舗の誘致
文化ホール等公共施設	
にぎわいの連続性を生み出す駐車場や駐輪場の配置・管理	
駐車場	・歩行者動線を分断しない位置への駐車場及び出入口の配置 ・駐輪しやすいスペースの確保 ・レンタサイクル・コミュニティサイクル等の運営
駐輪場	

3. にぎわいづくりのための取り組みについて

公共空間を活用したにぎわい創出の事例

【札幌大通まちづくり株式会社】

札幌大通まちづくり株式会社

- 平成21年9月に大通地区の商店街等が中心となり、継続的にまちづくり活動を行う組織として設立。
- 収益事業で得られた利益は全てまちづくり事業に還元。地域の付加価値を維持・向上させる公共的な事業を展開。
- まちの賑わい・交流の創出や来街者の利便増進に寄与する取り組みを行うために、道路等の公共空間を有効活用。

都市再生整備推進法人
に指定 (H23. 12)

今後、道路占用許可の特例等の制度を活用した都市再生整備計画の提案等が可能に！

札幌市

官民協働による新たな魅力やにぎわいの創出により、都心のまちづくりがより一層進展することを期待！



3. にぎわいづくりのための取り組みについて

公共空間を活用したにぎわい創出の事例

【富山市中心市街地地区】

- ・富山の中心市街地地区における賑わい拠点の中心的な役割を担っている「グランドプラザ」において都市利便増進協定を締結。
- ・都市再生推進法人である(株)まちづくりとやまが維持管理と合わせて、都市利便増進施設を活用し、まちの賑わいの創出に資するイベント等を実施。
- ・都市利便増進施設（ミスト装置、音響装置）を設置することで、利用者の増加とイベント開催者等の満足度の向上を図るとともに、整備費用負担、日常管理の分担等、官民が連携・協力しながら事業を実施。

整備や日常管理に関する基本的な方針、官民の役割分担について、都市再生特別措置法第74条の規定による都市利便増進協定を締結。

協定概要

協定締結者：富山市、(株)まちづくりとやま

協定締結日：平成24年3月29日

都市利便増進施設

- ・ミスト装置
- ・音響装置

施設整備に関する事項

日常管理に関する事項

- ・都市利便増進施設を活用し、イベントを実施できる。
- ・日常の管理業務は(株)まちづくりとやまが実施する。



3. にぎわいづくりのための取り組みについて

公共空間を活用したにぎわい創出の事例

【大阪市うめきた先行開発地区】

- ・ JR大阪駅の北側に関西の都市再生をリードする新しい拠点が平成25年4月26日に開業。
- ・ ゆとりと潤いのある都市空間の形成を図るため、官民連携による一体的でより質の高い公共空間整備を実施。
- ・ 「一般社団法人グランフロント大阪TMO」が将来にわたって地区全体の一体的なエリアマネジメントを実施予定。

うめきた先行地区都市再生整備計画

道路占用許可の特例適用地区

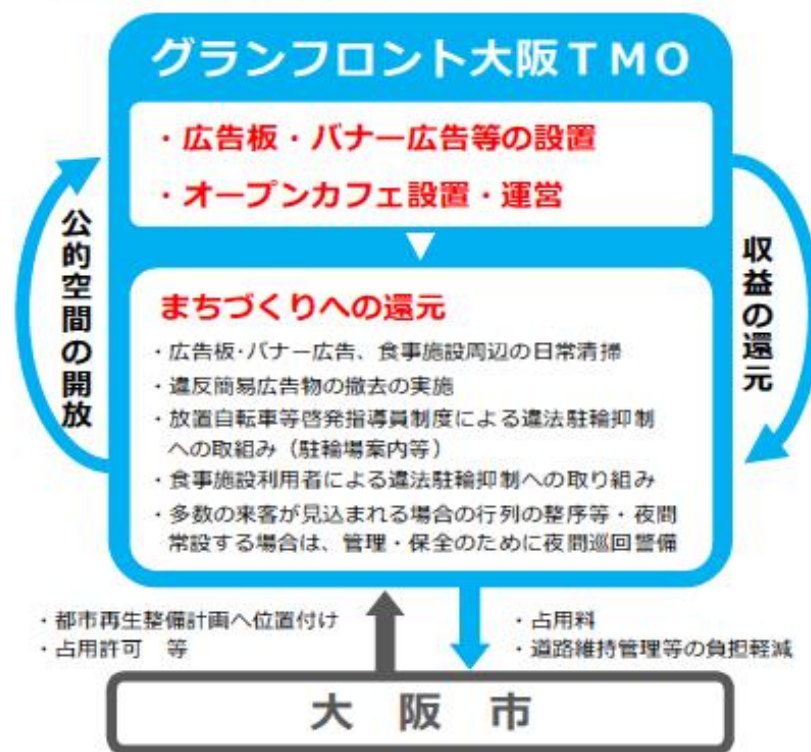


広告板・バナー広告



食事施設

道路占用許可の特例適用概要図



3. にぎわいづくりのための取り組みについて

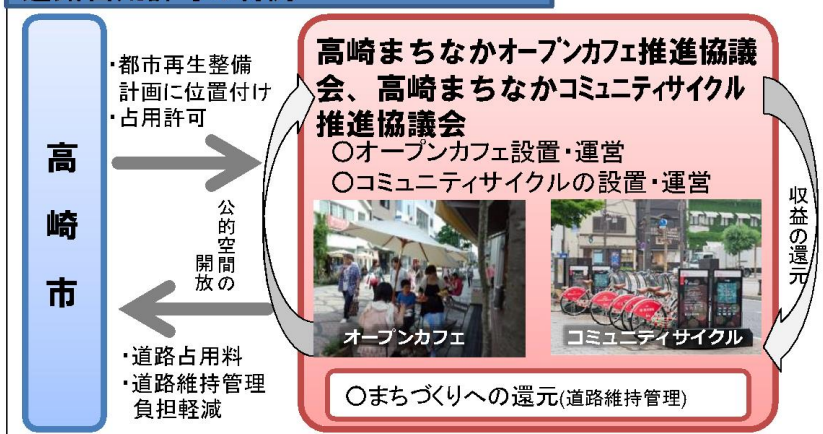
公共空間を活用したにぎわい創出の事例

【高崎市まちなかオープンカフェ、コミュニティサイクル】

○高崎市中心市街地地区では、平成24年度にオープンカフェ事業の社会実験を行い、平成25年4月6日よりオープンカフェ、コミュニティサイクル事業を実施し、カフェ等の収入を道路維持管理、地域イベント等のまちづくりに還元

<高崎市における例【社会実験(H24)を経てオープンカフェ等を設置(H25.4)]>

道路占用許可の特例



位置図



※16店舗で実施
※10/16箇所の特例活用

オープンカフェ実施に係る協議会

オープンカフェ推進協議会（商工会議所、商店街、高崎市等で構成）を設立し、オープンカフェの運営、日常管理に関する実施要領を策定し、地先出店者を公募

《オープンカフェに係る実施計画》

収入	支出
出店料(16店舗)	道路占用料
市補助金(備品購入費)	道路維持管理費(0. 自己負担)
	地域イベント費
	備品購入



※6/12箇所の特例活用